

【ご参考】 2022年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

【業績】
売上高 615億円（前年同期比 113億円増収） US\$0.21円の円安、EUR 11.06円の円安、CNY 1.44円の円安 により、売上高 3.7億円増加 営業利益 41.9億円（前年同期比 45億円増益） 経常利益 56.9億円（前年同期比 50億円増益） 親会社株主に帰属する四半期純利益 42億円（前年同期比 42億円増益）
【連結の範囲】
連結会社 23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
【特別損益】
特別損失 5.1億円：固定資産処分損 2.2億円、地中埋設物処理費用 2.9億円等
【中間配当金】
中間配当 70円/株（前期中間30円/株） 期末配当70円/株 予定（前期期末30円/株）

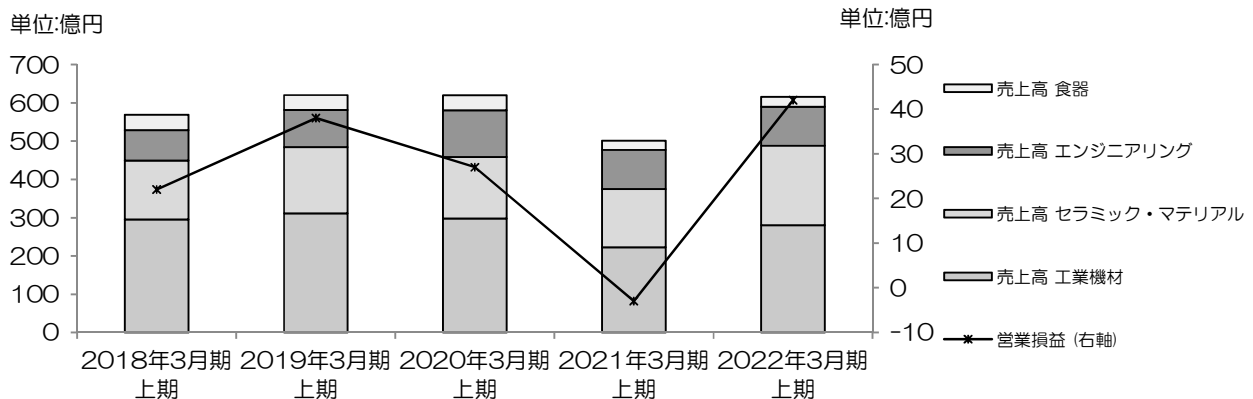
(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	295	299	283	223	280	57
	セラミック・マテリアル	154	173	161	151	208	56
	エンジニアリング	79	109	137	103	102	△1
	食器	41	39	39	24	25	1
		569	620	619	502	615	113
営業利益	工業機材	8.1	10.2	2.3	△15.9	12.5	28.5
	セラミック・マテリアル	13.6	20.8	12.7	10.1	28.8	18.7
	エンジニアリング	6.0	12.1	15.7	9.7	7.8	△1.9
	食器	△5.5	△5.1	△3.8	△6.5	△7.2	△0.7
		22.2	38.0	26.9	△2.6	41.9	44.6
(売上高営業利益率)		(3.9%)	(6.1%)	(4.3%)	(△0.5%)	(6.8%)	-
経常利益		31.6	49.6	37.2	6.6	56.9	50.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益		24.8	40.8	28.1	△0.2	42.1	42.3
1株当たり四半期純利益		172.64円	283.92円	195.56円	△1.44円	291.4円	-
1株当たり純資産		6,068.26円	7,147.09円	7,245.02円	7,083.18円	7,882.09円	-
US\$ 為替レート		112.1円	108.5円	110.0円	108.2円	108.5円	-

※ 2022年3月期より連結子会社1社の帰属セグメントを変更しており、2021年3月期以前のセグメント別売上高・営業利益については変更後の報告セグメントに組み替えた数値を記載しております。

売上高及び営業損益の推移（2018年3月期上期-2022年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2021年3月期 上期		2022年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	8	11	8	10
セラミック・マテリアル	11	7	7	7
エンジニアリング	1	1	1	1
食器	2	1	2	2
管理部門	2	4	6	4
合計	24	24	25	23

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2021年9月	対前期比
有利子負債※	131	48	51	79	78	△ 1
現金及び預金	185	141	126	123	128	5
ネット有利子負債	△ 54	△ 93	△ 75	△ 44	△ 49	△ 6

※ 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2022年3月期の予想

(1) 重点施策

コロナ禍で大きく変化する事業環境に対応するため、これまでの基本戦略に最優先事項として「選択と集中の加速」を加えた取り組みを継続します。

【工業機材】

- ・汎用品とオーダーメイド品に事業体制を再編し、事業の拡大と効率化を推進します。また、グループ会社を含めた国内販売拠点の再整備を行い、効率的な販売・物流体制を構築します。
- ・製造から販売までを通して分析し、商品群毎に採算性重視の利益体質を構築します。
- ・中国蘇州工場で大型砥石を増産するための新ラインが稼働しました。また、タイ工場の製造ラインの増強も完了し、生産を開始しました。引き続き、海外市場の開拓を進めます。
- ・自動車の電動化や次世代通信に関連した先端材料分野での新技術・新商品開発を推進して拡販を図ります。

【セラミック・マテリアル】

- ・電子ペースト事業では、高速移動体通信など電子部品用の生産能力増強と商品開発を推進し、国内外の重要顧客でのシェア拡大を図ります。
- ・セラミックス事業では、石膏とセラミックコアの海外市場の開拓、触媒担体の次世代商品の開発を推進し、事業の選択と集中を進めます。
- ・電子部材は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強によるシェア拡大と新商品開発に取り組みます。

【エンジニアリング】

- ・次世代電池（リチウムイオン電池、燃料電池）などのエネルギー分野、電動化が進む自動車分野、次世代通信などのエレクトロニクス分野において、新商品開発、既存商品の高付加価値化、新用途開拓による拡販を進め、事業の拡大を図ります。
- ・医薬・化粧品など新しい分野への参入と新用途展開に取り組みます。

【食器】

- ・事業全体を通して収益改善を図ります。国内では、ネット販売の強化、流通販路や直営店の再整備を推進します。海外では、新興国市場の販売体制の強化、米国市場の収支改善を進めます。

【設備投資金額】

設備投資 60億円 減価償却費 50億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2021年 3月期	2022年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	474	280	285	565	91
	セラミック・マテリアル	328	208	212	420	92
	エンジニアリング	214	102	138	240	26
	食器	54	25	30	55	1
		1,070	615	665	1,280	210
営業利益	工業機材	△ 12.3	13	11	24	36
	セラミック・マテリアル	31.0	29	28	57	26
	エンジニアリング	20.0	8	13	21	1
	食器	△ 13.1	△ 7	△ 5	△ 12	1
		25.6	42	48	90	64
経常利益		44.8	57	58	115	70
親会社株主に帰属する当期純利益		28.1	42	43	85	57

(下期想定為替レート US\$=105円)

※ 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用したため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、増減額は参考情報として単純比較値を記載しております。

※ 2022年3月期より連結子会社1社の帰属セグメントを変更しており、2021年3月期のセグメント別売上高・営業利益については変更後の報告セグメントに組み替えた数値を記載しております。